

電波感知器が反応し、赤色灯は回り、警報音がなる。その時、男性従業員と女性従業員の対応の違いは？ 男女の習性を理解した教育がゴト撲滅のために重要である。

前々回はゴト師との対応法について説明し、次回(前回)に代表的なパターンを紹介すると説明したのだが、今回は男性従業員と女性従業員の違いについての説明に終わってしまった。今回はこの両方についてちょうどいい実例があるのでそれを中心にして話を進めて行く。「斬 耕平が切る！」

ゴト師役を頼まれる…

少々昔、地方の会員様から頼まれて実験を行った(させられた)事がある。
「中野社長、ウチの従業員がどれだけ教えた事を理解しているのか、なにかが店内で起きたとき、どう対処するかを知りたいのです。その為に電波発信器を持って店内で飛ばしてもらえませんか？」
なんと、私に電波ゴト師の役目をさせ、電波感知器が反

応した時の従業員の反応を見たいと言いだしたのだ！
「それは、下手すると私が警察に捕まってしまうじゃないですか？」
まさかそうなら無いとは思

ったが、間違って警察に通報されたり、店内で取り押さえられたりしたら堪ったものではない。しかし、頭を下げて頼まれては仕方ない。諦めて電波発信器を紙袋に入れた時、背後で「ニヤッと笑った」ような気がした。そして店内を

歩きながら電波を放射した。「ピーピーピー！」弊社の電波感知器が反応して赤色灯と警報音を鳴らしている。男性従業員はやや怪訝な顔をしながらも感知器をリセットした。

私はさらに他の島に移り発射した。当然その島の感知器が反応し警報音を鳴らした。今度は違う男性従業員がやってきて、反応した感知器の近くに座っているお客に頭を下げリセットしたが、ゴト師がいるのか周りを見る様子はない。

前回説明した「自ら積極的に考えて行動する」ことが出てこないのだ。逆にインカムに上司から「周りを見る」「あそこが怪しいから見張れ」等の指示があれば、一生懸命その命令を守ろうとする

のも男性従業員の習性である。しかし、遊技客に不愉快な思いをさせたくないと言う気持ちが一番優先なのか、電波感知器が反応したらゴト師が近くで電波を飛ばしているかもしれない、という当たり前

「お客様、その紙袋の中に何か隠してませんか？」
丁寧ではあるが凄く剣幕だ。「いや、何も持ってないよ」一応トボけてみせた。「では中を見せて下さい！」
語気に鬼気迫るものを感じた。

「OK!分かったよ。でもね、これはお宅の〇〇社長からの

指示なんだよ。インカムで確認してごらん」
彼女の語気をかわす様に優しい口調でそう言った。

彼女が想像していない私の返答に驚きながらも、連絡を入れようとインカムのスイッチに手を掛けた時、カメラで一部始終を見ていた店長から先に説明が入った。彼女は怪

訝そうに説明を聞いていたが状況を理解したのか、顔色が穏やかになり、インカムの相手に頭を下げながら喋っている。そして連絡が終わると私にも謝り始めた。
「いやいや君は何も悪くないよ、真面目に仕事をしただけさ。でもね、1人で追いかけるなんて今後は絶対にしちゃダメだよ。相手は犯罪者で何を

するか分からないから」
彼女は「済みませんでした」とはにかむ様な笑顔で謝りながら、2〜3回頭を下げて戻って行った。

もちろん、彼女の行動は一部始終を見ていた店長達にも高評価された。しかし、この行動を「よし」としてはいけない。彼女に説明した通り、ゴト師との対応は危険を伴うものだから、あくまでも慎重でなければならぬ。

だからといって、彼女にその事を何度も教える必要はない。彼女は今日の事を教訓としている事は間違いないのだ。それよりも、何も感じず自ら行動を起こさなかった男性従業員にこそ問題有りである。さてどうやって彼達に分からせれば良いものか。一応店長

重要な発想が後回しになってしまっているのだ。「困った奴等だな、もう一度教育を徹底しないと」

背中に感じる視線…

その時だ！私をジッと見つめる視線があった！その視線の先には、島影から私を見つめる女性従業員がいた。どう考えても「かっこいいおじさまがいる」なんて優しい視線ではない事は確かだった。「やばい、完全にオレを疑っている！これ以上やったら間違いなく警察に通報されちゃう…」

と悩みながらも他の島へ移動した。女性従業員はオレに気付かれまいと島端を移動しながらついて来た。男性従業員は誰一人オレの挙動を監視しようとはしていない。「ええい、ままよ！」と三回目

目の発射！
当然、電波感知器が反応し赤色灯は回るのは警報音は鳴る。その時だ！女性従業員と目が合ってしまった！「これは完全にアウトだな、どうする取りあえず店を出るか！」そこへあの女性従業員が駆けつけて来た！

から、先ほどの『事件』について説明がなされた。その時この従業員達は「な〜んだ」と言っていて笑っているのだ。自分たちがどれだけ愚かだったのか微塵も気付かずに。

シミュレーションが大切

このような実験は多数行っている。そして反応は似たり寄ったりである。

もちろん読まれてみて、「オレはこんな奴とは違う」とお怒りになられた方もいるだろう。しかし、統計的にこうい

った習性が男性、女性に多い事を理解し教育して行く事は、ゴト撲滅だけではなく重要と言えるのではないだろうか。今でも電波ゴトの噂は後を絶たない。やはり「目に見えない恐怖」と言うのは大きな事である。その為にも、自店の電波感知器が反応をしたときどうするかシミュレシ



なかの こうへい
1957年高知県出身。大手OA機器販売メーカー・大手建設会社などの勤務経験の後、パチンコ業界に入る。その後、三十年以上にわたり、パチンコ業界の全てを研究しつくし、各遊技業協同組合でも不正防止講演会に講師として参加するなど、不正防止の知識を広く伝えるべく活動を行っている。

ョンしておく方が良い。簡単な事で、まずは噂になっっている遊技台を用意する。出来なければどの台でも良い。そして当たり前だが電波感知器と携帯電話を用意する。弊社のパルスレーダーシリーズ以外は、携帯電話を直つけすれば反応をする。まあ反応をしなくとも、したとしてシミュレーションを行えば良いのだが、なるべくリアリティがあった方が真剣味が増す。同じく音や光等の演出は考えられた方が良いだろう。
対応法は前々回の「ピアノ線を使ったと思わしき」の対応法を参照してもらいたい。やはりここでも金属探知機は役に立ちますぞ。
今回はもう少し掘り下げようか、それとも新展開にしていこうか悩んでいる。どちらにしろ平成26年もおおいに斬らして、頂こう。



記事に関するお問い合わせはA・P総研まで Tel.03-3202-0971

illustration : t.tsukamoto